

# 令和4年度第2回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

日 時	令和4年11月24日（木） 9時30分～11時00分
場 所	南国市上下水道局 2階 会議室
出席者	南国市長 平山 耕三 南国市教育委員会 教育長 竹内 信人 教育委員 野中 美宏 教育委員 上岡 哲朗 教育委員 浜田 雅士 教育委員 楠瀬 公美

## 1 開会

開会の挨拶（平山市長）

## 2 議事

### 【議事1】南国市教育委員会の取組について

- ① 「南国市これからの教育・保育を考える会の答申」について
- ② 南国市保幼小中連携学力向上推進プランについて
- ③ 南国市における運動部活動の地域移行について
- ④ 南国市版GIGAスクール構想・・・ロードマップについて
- ⑤ 令和5年度 内部検証専門委員会の設置について
- ⑥ 生涯学習課の事業について（MIARE！・新図書館）

### 【教育委員会事務局】

（資料説明）

### 【上岡教育委員】

- 部活動の地域移行も教員には大きな負担軽減となるが、GIGAスクール構想は、ICTを使うか使わないかという段階ではなく、どう使うかという段階に移ってきている。ICTを活用することが、教員の負担軽減への大きな道であると考えている。今まではプリントを作成・配布・回収・チェック・保管する時間が必要だったが、ICTを使えばこの時間はかなり削減される。教員にとって授業以外のストレスの高い事務作業が大きく軽減され、子どもたちと直接向き合える時間、自分の得意なことを生かせる時間が増える。ICTをどのようにうまく使っていくかが難しい面もあるが、推進していただきたい。

### ⇒【平山市長】

- 児童生徒に一人一台端末が配布され、今、まさにどう使っていくのかを検討されている段階で、指導される先生方の負担、まずは先生方が使い方を覚えることが大変だと思う。それが推進の壁になるのではと考えるが、各学校における端末の活用は、徐々に流れができていくのか。

## 令和4年度第2回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

### ⇒【教育委員会事務局】

- 一人一台端末の使用状況について業者から毎月データをいただいております、学校・個人別の使用状況を把握しています。今年度の5・6月と比較すると先月10月の使用時間はかなり増えてきています。その一方で、端末を使わない、今までの授業でという意識の先生方もいらっしゃる。

### ⇒【平山市長】

- 一人一台端末の活用が一律に進まないという課題はあると思う。この取組を徐々に広げ、どのように定着させていくのかご検討いただきたい。このロードマップが実現することを期待している。
- 香南中学校の運動部活動の地域移行は、令和6年度から完全移行という目標を掲げているが、具体的な計画ができてしているのか。

### ⇒【竹内教育長】

- 香南中学校の運動部活動は、現在も総合型スポーツクラブ「まほろばクラブ南国」にお世話になっており、「まほろばクラブ南国」に移行できる種目については、ご協力いただく予定である。その他の種目については、コーディネーターを配置し、受けてくださる団体や個人を探していく予定である。
- 実施場所は、実態に即した形で、指導者に学校へ来ていただいたり、生徒が移行先に移動したりなどの対応をしたい。
- 既存の部活動の継続のみを目的にしておらず、子どもたちが興味を持つ「スケートボード」「ブレイクダンス」などの新たな種目についても手が届くように検討したい。

### 【平山市長】

- 学校の適正規模の検討について、災害等も考慮し答申書には「学校再編等といったことを視野に一步前進したシナリオを描く時期である」との記載がある。今後はどのように検討を進めていくのか。

### ⇒【竹内教育長】

- 学校教育に関わる計画は、ソフト面、教育自体をどう進めていくかを教育振興基本計画に、ハード面、建物・施設関係を学校施設長寿命計画に定めているが、この2つ計画には、学校の再編等が含まれていない。今回の答申を受けて、新たに中長期教育総合計画を策定し、移転や再編についても定める予定である。ただし、計画策定の前に、まずは保護者や地域の方からご意見を伺い、いただいた意見を計画に反映させていきたい。
- 検討委員会において、再編・統合の検討には、一定の候補地選定の上で議論を進める必要があるとのご意見をいただいている。まずは候補地となる候補の選定を教育委員会事務局で行っていく。
- 大篠小学校は、新たな住宅地の建設等により隣接校選択制度を開始した際の児童数増加の試算を上回る可能性がある。稲生小学校・三和小学校・大湊小学校の再編に大篠小学校区の南部を含む等の検討の可能性がある。
- 中長期教育総合計画は、かなり踏み込んだ計画となり、教育委員会のみならず市政全体に関わる計画となる。庁内全体の調整も必要となるが、なるべく来年度中の策定を目標としたい。

### ⇒【野中教育委員】

- 東部と南部の津波浸水区域が児童数減少に加えて校舎の老朽化など、全て連動していて非常に難しい課題である。災害リスクを考えると早期に、2～3年のうちには具体的な結論を出す必要があるが、何か他にいい手立てがないのかと感じる。
- 中学校の部活動では、香南中学校と北陵中学校のサッカー一部が合同で試合に出場したと聞いたが、生徒の移動はどうしているのか。

## 令和4年度第2回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

### ⇒【教育委員会事務局】

- 実態は把握していないが、保護者が送迎する場合もあると思うが、北陵中学校は公用車があるため、少ない人数の移動であれば、学校が送迎しているのではないかと。

### ⇒【平山市長】

- 中長期教育総合計画は、南国市全体を見渡して、さまざまな要素を考慮して検討することとなる。市としての考え、案をいくつか持っておくことは議論を進める上で必要である。
- 各地域での意見収集や庁内調整など難しい計画の策定となるが、南海トラフ地震の可能性も高まっている。早期の策定を目標に進めていただきたい。

### 【楠瀬教育委員】

- 総合教育会議の感想になるが、ICTの推進、一人一台端末の活用を広げていただきたいと感じた。現在、学校からの端末持ち出しはできないが、今後は家庭学習でも使えるように、自宅に持ち帰りができるよう改善していただきたい。

### ⇒【教育委員会事務局】

- 学校閉鎖などの緊急時は端末の持ち出しを可能としているが、平常時の利用については、検討段階である。各家庭のネット環境に加え、新たに端末の故障に関する課題が見えてきた。端末が故障した場合、それが故意であるか否かの判断に時間を要することが分かった。
- ただし、校長会からも端末の持ち出しについて申し入れがあったので、令和5年4月から平常時でも持ち出しができるよう、運用方法を検討している。

### ⇒【平山市長】

- 故障時の責任の所在の特定が難しいために、平常時は持ち出しに至っていないとのことだが、令和5年4月からの持ち出しに向けて検討を進めているという回答をいただいた。

### 【浜田教育委員】

- 前浜の大湊小学校区・香南中学校区に住んでおり、確かに少子高齢化が進んでいる。地元の若い人も家を建てるなら大湊小学校区から出ていくので、長い目で考えると小学校の再編が必要なのは理解できる。その一方で、地域コミュニティは、小学校校区活動してきた歴史がある。小学校の再編・統合については、十分に地域と議論を行っていただきたい。
- 中学校の防災士講習の開催はありがたい。避難訓練も中学生が核になることで参加者が増える。中学生にはぜひとも防災士を取得していただき地域で活躍して欲しい。

### ⇒【平山市長】

- 小学校区で地域コミュニティが存在しており、学校再編の議論は、地域の活力がなくなるような、コミュニティをどう維持するか、どう理解していただくかが肝になる。地域からのご意見を十分に伺っていただきたい。
- 中学生の防災士講習は初めての取組であったが、意識の高い生徒が多く、地域での活躍も期待できる。講習を継続したい。

### 【竹内教育長】

- 教育委員会では、喫緊の課題が山積しており、今回の総合教育会議は、通常よりも議題が多くなった。結論が出ない課題が多いが、教育委員会の現状を知っていただきたい思いから、情報を共有させていただいた。協議に至らなかった事項について補足する。

## 令和4年度第2回 南国市総合教育会議 議事録（概要版）

- ▶ 保育小中連携については、学力データの推移からもその必要性が顕著となった。
- ▶ 平成20年以降に死亡事案は発生していないものの、危険性の高い事案は毎年発生している。これらを検証する必要があるために、内部検証専門委員会を設置することとなった。
- ▶ 生涯学習課所管の新たな施設「地域交流センター」「新図書館」について、人的課題、施設運営を企画できる専門的な知識を職員が養うのか、外部委託するのか、引き続き検討する。

### ⇒【平山市長】

- 喫緊の大きな課題を抱えていることが理解できた。この会議での報告で終わりということではなく、継続的に協議・共有しながら検討を進めたい。

### 〔議事2〕 その他

【事務局（企画課）】 次回日程説明

### 3 閉会

以上